

幼稚園名：中央区立月島幼稚園 所在地：中央区月島1-9-7
 園長名：太田 禎子
 幼児数：83名 学級数：6学級
 教員数：13名（養護教諭・特別支援補佐員含む） 職員数：2名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

○アンケート実施状況

- ▶実施時期 12月
- ▶教員5人中5人回答 回答率（99%）保護者83人中82人回答

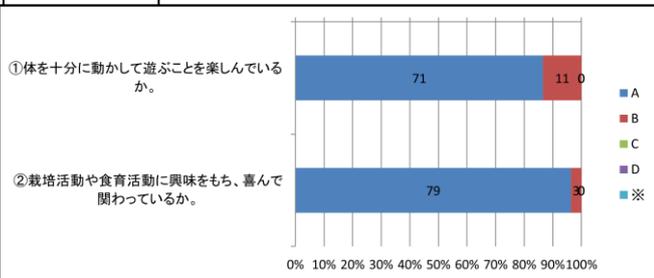
A 十分達成している B 達成している C 改善を要する D 緊急に改善を要する ※わからない

今年度設定した3つの重点目標において、9割以上の保護者から「達成されている」との回答を得た。今年度の教育活動について多くの保護者の方にご理解いただけたと考える。

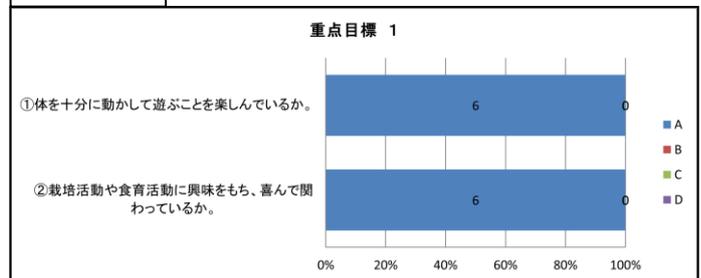
●重点目標1 幼児の健康な体づくりを推進する。

- 評価指標：①体を十分に動かして遊ぶことを楽しんでいるか。
 ②栽培活動や食育活動に興味をもち、喜んで関わっているか。

保護者



教員



【重点目標1について】

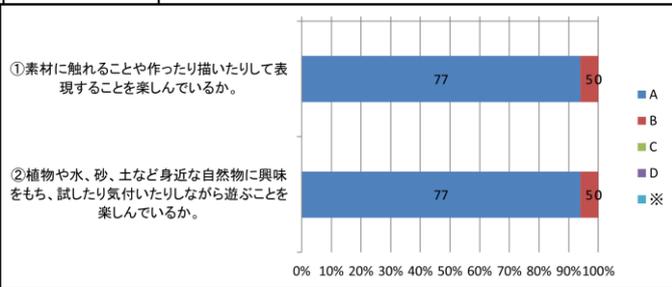
- 重点目標1について、保護者の「十分達成している」「達成している」の合計は100%ととても高い評価である。運動遊び推進園として、園庭や遊戯室を活用し、体を動かしたくなるような環境づくりや、リズム遊びや鬼遊びを学年の発達に応じて工夫しながら取り入れてきた。また、園庭開放が定着し、保護者や友達と一緒に園庭で体を動かして遊ぶ楽しさを味わうことができた。今後も、運動遊びを積極的に取り入れていくとともに、家庭への運動遊びの啓発も進めていきたい。
- 栽培活動についても、園庭で季節の野菜を栽培し、収穫して食べる体験を行ってきた。感染対策が不要になり、自分たちで調理して園のみんなで食べる活動もできるようになった。今後も園庭の環境を生かして、栽培活動を充実させていきたい。

●重点目標2 幼児が主体的に関わり表現する楽しさを味わうことを通して豊かな心を育む。

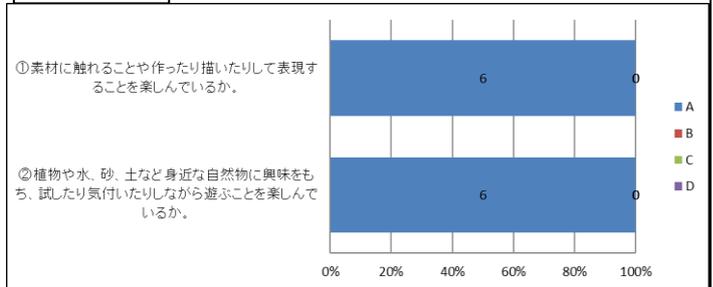
評価指標：①素材に触れることや作ったり描いたりして表現することを楽しんでいるか。

②植物や水、砂、土など身近な自然物に興味をもち、試したり気付いたりしながら遊ぶことを楽しんでいるか。

保護者



教員



【重点目標2について】

・評価指標①、②ともに、100%の保護者が「十分達成している」「達成している」と回答しており、教員も全員が「十分達成している」と回答しており、とても高い評価である。昨年度に引き続き、今年度も「造形的な遊び」について園内研究で取り組み、幼児が素材そのものとの出会いや触れ合いを楽しめるような環境を工夫してきた。保護者にもその活動の様子を写真と共に伝えたり、降園時に作品を見ていただいたりした。教員も、幼児が素材との触れ合いを楽しみながら表現することの意味や、一人一人の表現を受け止める教師の関わり方について考え、学んできた。中央区教育委員会研究奨励園として、11月に研究発表会を行い、区内外に発信し、学び合ったことで達成感を感じられたことも大きな成果である。学んだことを踏まえて造形的な遊びの年間計画を立案し、環境構成や教師の援助のポイントを押さえた保育を、来年度も継続して実践していけるようにしていきたい。

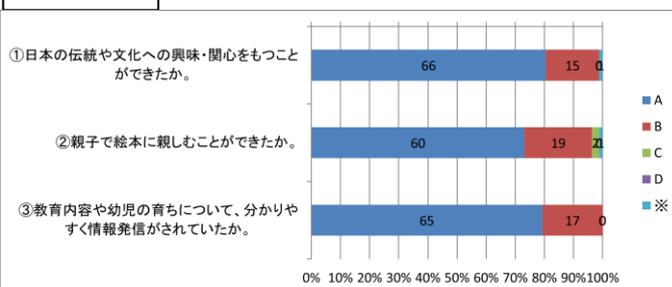
●重点目標3 家庭や地域と『月島幼稚園大好き!』の気持ちを共有する。

評価指標：①日本の伝統や文化への興味・関心をもつことができたか。

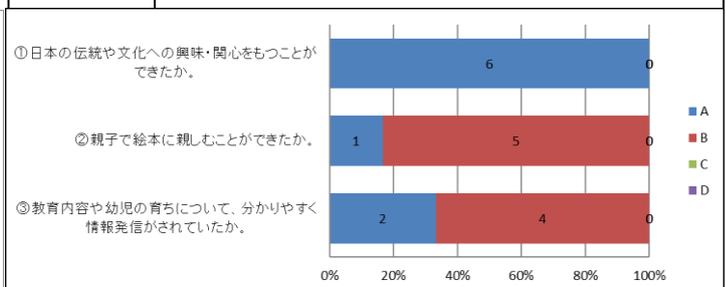
②親子で絵本に親しむことができたか。

③教育内容や幼児の育ちについて、分かりやすく情報発信がされていたか。

保護者



教員



【重点目標3について】

・評価指標①では、95%以上の保護者が「十分達成している」「達成している」と回答しており、教員も全員が「十分達成している」と回答している。和太鼓や三味線といった日本

の伝統的な楽器の演奏を聴いたことで、太鼓に興味をもって繰り返し鳴らすことを楽しんだり、空き箱で三味線を作ったりしながら、遊びに生かして親しむことができた。

- ・評価指標②では、毎週末に絵本を貸し出して、家庭でも絵本に親しめるような機会をつくっているものの、読む時間の確保が難しいこともある。絵本の紹介をするなど、関心を高める工夫が必要だった。保護者ボランティアによる読み聞かせは好評だったので、来年度も継続していきたい。
- ・評価指標③では、100%の保護者が「十分達成している」「達成している」と回答している。昨年度より導入された園務支援システム「ルクミー」を活用し、各学級で遊びの様子を写真と共に毎日配信してきた。保護者から、家庭での会話のきっかけとなっている、欠席した際にも活動の様子を知ることができる、配信を毎日楽しみにしている、などのご感想をいただいている。遊びの様子が分かることが、教育活動への理解や園への信頼感につながっている。来年度も、教員の負担感が増えないように工夫しながら日々の配信を行い、幼児の成長を共に喜び合えることを目指して取り組んでいきたい。また、紙面で配布している手紙について、ルクミーで配信してほしいとの意見もいただいているので、検討していきたい。

2 重点目標以外の自己評価と保護者による全方位的な評価における達成状況及び達成のための取組状況

(1) 教員の自己評価 結果と分析

- ・概ね達成していると回答している。「基本的な生活習慣の定着」についての項目では、一人一人の幼児に応じて指導を行ってきたが、家庭との連携がより必要であると感じている。発達に応じて身に付けられるとよい生活習慣について具体的に見通しを知らせたり、個別に相談したりして、基本的な生活習慣が幼児期にしっかりと身に付くようにしていきたい。

(2) 保護者評価結果と分析

- ・全方位的な評価については、全ての項目において、95%以上の保護者が、4・3（よくあてはまる・あてはまる）と回答している。この評価を得られたことは、幼稚園への理解と今後への期待の表れと捉える。
- ・特に、「幼児理解」・「相談機能」・「自然体験」・「情報発信」にかかわる9項目では、昨年度よりも4「よくあてはまる」の評価の割合が増え、100%の保護者が、4・3（よくあてはまる・あてはまる）と回答している。今後も、一人一人の幼児や保護者に寄り添った対応を心掛け、全ての幼児・保護者にとって、幼稚園が安心・信頼できる場所であるように努めていきたい。

3 今後の方策

- 栽培活動・食育活動の充実を図る。
- 造形的な遊びについて研究を進めていく。
- 子育て支援の充実に努める。